

2025 年度(令和 7 年度) 日本学生支援機構大学院貸与奨学金 「特に優れた業績による返還免除」募集要項

この制度は、大学院**第一種**奨学金（「授業料後払い制度」含む）の貸与を受けた学生で、特に優れた業績をあげた者として日本学生支援機構（以下、「JASSO」）が認定した場合に、奨学金の全部または一部の返還が免除されるものです。

※「教員免除」への出願を希望する方は、必ず『教員免除』出願者用 別紙』を併せて確認してください。

別紙は[こちら](#)

1. 制度概要

(1) 根拠規程

大学院において第一種学資貸与金の貸与を受けた学生等のうち、在学中に特に優れた業績を挙げたと認められる者には、政令の定めるところにより、その学資貸与金の全部または一部の返還を免除することができる。

※ 学資貸与金 = 奨学金 （独立行政法人日本学生支援機構法主旨抜粋）

(2) 返還免除者数

JASSO の定めでは、各年度において全国で貸与期間が終了する者の 100 分の 30 以下としています。

大学毎の免除者数は JASSO が決定します。

(3) 返還免除額

大学院(各課程ごと)において貸与を受けた第一種奨学金貸与金額の全額もしくは半額

(参考) 2024 年度の本学の返還免除採用者数実績

修士課程	99 名 (うち全額免除 33 名、半額免除 66 名)
専門職大学院課程	11 名 (うち全額免除 3 名、半額免除 5 名、教員免除[全額] 3 名)
博士課程	5 名 (うち全額免除 2 名、半額免除 3 名)

2. 対象者

(1) 出願資格

2025 年度中（2025 年 4 月～2026 年 3 月の間）に大学院第一種奨学金の貸与が終了する者

※第一種奨学金（海外協定派遣対象）・授業料後払い制度を含みます。

※2025 年度中に第一種奨学金を途中辞退する方、途中終了する方、早期修了する方を含みます。

※**2026 年度に日本学術振興会特別研究員等の採用が見込まれる方**は、2026 年 3 月末をもって日本学生支援機構奨学金を辞退する必要がありますので、今次の募集の対象となります（次回以降の募集は対象外となります）。

※課程修了は出願の必須条件ではありませんので、満期退学者、中途退学者も出願可能ですが、学内選考（研究科による）において基準・参考とする場合があります。

※2023 年度以降に、博士（後期）課程および博士医・歯・薬・獣医学課程で第一種奨学金に採用された人で、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が実施する「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」・「次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）」・「国家戦略分野の若手研究者および博士後期課程学生の育成事業（BOOST）次世代 AI 人材育成プログラム（博士後期課程学生支援）」の採択を受け、本学が実施している「RARA 学生フェロー」として支援を受けた者は、「特に優れた業績による返還免除制度」の対象外となります（2023 年度からの制度として返還免除制度と上記支援は重複支援の禁止となっています）。

【注意】2022 年度以前に第一種奨学金に採用された方は、返還免除制度と上記支援の重複支援が可能です。該当する場合は学生オフィスに事前に確認してください。

《選考対象外》

- ・大学院在学中に立命館大学学生懲戒規程により懲戒を受けた者
- ・申請書類に虚偽の記載があった者

(2) 課程区分

出願および選考は、以下 3 つの課程区分で行います

- 修士課程、博士課程前期課程、一貫制博士課程※の 1, 2 回生（以下、修士課程）
- 専門職学位課程（以下、専門職課程）
- 博士課程後期課程、4 年制博士課程、一貫制博士課程※の 3～5 回生（以下、博士課程）

※一貫制博士課程について現在 2 回生で、3 回生以降も貸与を継続する者は、3～5 回生での貸与終了時の免除申請対象とします（その場合は、1,2 回生時の貸与分も含めた貸与額の免除申請が可能となります）。

3. 出願書類 ※「教員免除」への出願を希望する方は、『教員免除』出願者用 別紙を確認してください。

出願書類を、以下の Web サイトよりダウンロードのうえ、PDF 形式に変換して提出してください。

https://www.ritsumei.ac.jp/scholarship/news_economic/article.html/?news_id=444

(1) 2025 年度 業績優秀者返還免除申請書（様式 1-A 表・裏両面）

※記入例（本要項巻末）を参照のうえ作成し、PDF データにて添付してください。

※申請書は、手書き、パソコン入力いずれも可能です。

※奨学生番号の記載漏れがないようにしてください。なお奨学生番号は「奨学生証」に記載されています。

大学へ電話で奨学生番号を聞かれてもお答えできませんので、予めご承知おきください。

※博士後期課程の方は、原則、博士後期課程在籍期間中の業績のみを記載してください。

ただし、博士後期課程における研究との関連で、博士前期課程のものを記載する必要がある場合のみ、それがはっきりわかるように明記してください。

※行間やフォントサイズを工夫し、全ての業績が必ず枠内に収まるように記載してください。

(2) 業績を証明する書類…2025 年度 業績優秀者返還免除申請書（様式 1-A 表・裏両面）の添付書類

以下の【資料作成に関する注意事項】および＜表＞を参照のうえ、準備してください。

【資料作成に関する注意事項】 ※要確認※

- ＜表＞の「必要項目」に記載の項目のすべてを含む資料を作成すること。
- 1 つの業績につきそれぞれ＜表＞に示されている「最大ページ数」以内で作成すること。
※指定の最大ページ数を超えると JASSO に提出できないため必ず厳守すること。
また、判読可能な大きさの文字で作成すること。
- 資料番号 1 つにつき、データは 1 つ作成すること（複数の業績を 1 つにまとめたり、同一の資料番号で複数データを作成したりしないこと）。
- 自身が最も優れた業績として申請したい資料（JASSO へ提出したい資料）を申請フォームにて各設問の 1 点目に添付すること（各業績項目で提出された資料のうち、1 点目に添付された資料のみ JASSO へ提出します）。
- ＜表＞に記載の「典型的な資料」および「よくある不備」を確認のうえ作成すること。
- PDF にはパスワードをかけないこと。
- 各資料において「必要項目」に該当する部分にマーカーで色付けすること。
- 申請書に記載した資料番号を、対応する資料の右上に記載すること。

<表>

業績の種類		最大 ページ数 (1つの資料につき)	必要項目 (○の項目は必須項目)	典型的な資料	よくある不備
1. 学位論文その他研究論文	1-1. 学位論文 ※法務研究科以外 原則提出必須	4	○申請者の姓名(姓のみは不可) ○論文タイトル ○論文内容の概要(以下のいずれかを含む) ・本文の書き出しの部分 ・要約	・学位論文の表紙および冒頭(書き出し)のページ	・論文内容の概要が添付されていない
	1-2. 研究論文	4	○申請者の姓名(姓のみは不可) ○論文タイトル ○発表年(月日はなくても可) ○論文内容の概要(以下のいずれかを含む) ・本文の書き出しの部分 ・要約 【査読付きの場合のみ必要】 ○学術雑誌等名 ○学術雑誌等発行年(月日はなくても可)	・論文の最初のページおよび学術雑誌の表紙・目次	・学術雑誌等名、発行年が確認できない
	1-3. 学会での発表	4	○申請者の姓名(姓のみは不可) ○題目 ○会議名 ○発表年(月日はなくても可) 【表彰・受賞がある場合のみ必要】 ○表彰・受賞等(以下のいずれかを含む) ・賞の名前(優秀賞等) ・順位 ・その他優秀であった旨 ・奨学金・外部資金を獲得した旨	・学会のプログラムの表紙とタイムテーブルおよび表彰状	・発表年、表彰・受賞等が確認できない
	1-4. 日本学術振興会特別研究員に採用、または、民間財団等が公募している競争的資金を獲得	4	○申請者の姓名(姓のみは不可) ○年度(月日はなくても可) ○以下のいずれか ・日本学術振興会特別研究員採用の旨 ・獲得した競争的資金の名称	・特別研究員審査結果通知書	・競争的資金獲得情報が確認できない
2. 大学院設置基準 16 条第 1 項に定める特定の課題についての研究の成果(※1) ※修士課程のみ対象		3	○申請者の姓名(姓のみは不可) ○研究の成果(以下のいずれかを含む) ・成果物自体 ・審査・試験に合格したことが分かるもの	・論文および合格した旨が確認できる証明書	・資料の添付がない ・修士課程以外の学生が申請している
3. 大学院設置基準第 16 条の2に定める試験および審査の結果(※2) ※修士課程のみ対象		3	○申請者の姓名(姓のみは不可) ○試験および審査の結果(以下のいずれか) ・成果物自体 ・審査・試験に合格したことがわかるもの	・作品および合格した旨が確認できる証明書	・資料の添付がない ・修士課程以外の学生が申請している

<表> : 次ページに続く

業績の種類	最大 ページ数 (1つの資料につき)	必要項目 (○の項目は必須項目)	典型的な資料	よくある不備
4. 著書、データベースその他の著作物 (第一号、および第二号に掲げるものを除く)	3	○申請者の姓名(姓のみは不可) ○著書、データベース等のタイトル ○以下のいずれか ・申請者が執筆、作成した文章・データの一部 ・申請者が執筆、作成した文章・データの要約 ○発行年(月日はなくても可)	・著書の表紙と奥付および申請者が執筆した本文のページ ・データ集およびデータ集が掲載されているサイトの画面	・専攻分野との関連が確認できない ・発行年が確認できない ・組織名・団体名しか記載がなく、申請者本人の氏名が確認できない。
5. (専攻分野に関連した)発明	3	○申請者の姓名(姓のみは不可) ○特許等の出願日あるいは認定日 ○特許等の出願番号あるいは登録番号	・出願中の場合、特許願 ・登録済の場合、特許証	・資料の添付がない ・組織名・団体名しか記載がなく、申請者本人の氏名が確認できない。
6. (専攻分野に関連した)授業科目の成績 ※成績証明書は全員提出必須	2	○申請者の姓名(姓のみは不可)。 ○成績の詳細(以下のいずれかを含む。) ・各授業の評価(A～F、優など) ・授業成績が全体の上位 X%であること ・外部試験に合格したことが分かるもの ・外部試験の得点が分かるもの ○年度(月日はなくても可)	・所属する大学の成績証明書 ※2025年12月1日以降に学内 証明書発行機で発行すること	・成績証明書の添付がない ・学内証明書発行機で発行した証明書ではない ・成績証明書の年度が古い
7. (専攻分野に関連した)研究または教育に係る補助業務の実績 ※大学独自書式を記入し提出してください	3	○申請者の姓名(姓のみは不可) ○研究プロジェクト名あるいは授業名(専攻分野との関連が確認できる程度) ○年度(月日はなくても可)	・大学指定の書式	・専攻分野との関連が確認できない
8. (専攻分野に関連した)音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績	3	○申請者の姓名(姓のみは不可) ○発表会名 ○年度(月日はなくても可) ○成績(以下のいずれかを含む) ・賞の名前 ・順位 ・優秀であった旨	・発表会のプログラム および表彰状	・成績が確認できない ・専攻分野との関連が確認できない
9. (専攻分野に関連した)スポーツの競技会における成績	3	○申請者の姓名(姓のみは不可) ○競技会名 ○年度(月日はなくても可) ○成績(以下のいずれかを含む) ・賞の名前 ・順位 ・優秀であった旨	・競技会のプログラム および表彰状	・申請者名が確認できない ・成績が確認できない ・専攻分野との関連が確認できない
10. (専攻分野に関連した)ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績(公益の増進に寄与した研究業績)	3	○申請者の姓名(姓のみは不可) ○イベント等の名称(専攻分野との関連が確認できる程度) ○年度(月日はなくても可)	・イベントのプログラム および参加を依頼されたことが分かるメールの文面 ・参加した活動の名称が記載された参加者名簿	・申請者が活動において実際に行った内容が読み取れない ・組織名・団体名しか記載がなく、申請者本人の氏名が確認できない ・写真や新聞記事など、本人の参加が確認できない

(※1) [大学院設置基準 16 条第 1 項とは](#) (リンク先参照)

(※2) [大学院設置基準第 16 条の 2とは](#) (リンク先参照)

(3) 提出用チェックリスト

このチェックリストを使用し、すべての書類を不備なく作成・提出してください。

(4) <情報理工学研究科のみ>

別紙「情報理工学研究科 申請要件」を確認のうえ、「2025 年度 立命館大学大学院 情報理工学研究科 日本学生支援機構奨学金返還免除申請用 研究科独自書式」を添付してください。



(5) <生命科学研究科のみ>

別紙「生命科学研究科院生用【案内資料】」を確認のうえ、2025 年度 生命科学研究科独自書類として Ri-SEARCH システムで出力した「研究業績報告書」を添付してください。

※当該書類に記載の業績と「(1) 2025 年度 業績優秀者返還免除申請書 (様式 1 - A 表・裏両面)」に記載の業績を一致させてください。

※大学 (学部) での業績は、評価対象となりませんので、記入・出力しないでください。

4. 出願方法・期間・注意点

出願方法	申請フォーム (下の URL または QR コード) から Web 提出してください。  【学内者用】 https://cw.ritsumeai.ac.jp/campusweb/SVA40D0.html?key=LNG20251208122801863914410 【学外者用】 ※初回は「会員登録」が必要です。 https://rw.ritsumeai.ac.jp/survey/SVA40D0.html?key=LNG20251208125100269914410 
出願期間	<u>2026 年 2 月 1 日 (日) 9 : 00 : 00</u> <u>~2026 年 2 月 15 日 (日) 23 : 59 : 59</u> ※毎日 2 : 00~6 : 30、水曜日 19 : 30~翌朝 9 : 00 はメンテナンスの為入力できません。 ※ 出願期間を過ぎてからの出願は一切受け付けません。
注意点	出願前に全員必ず以下の動画を閲覧してください。動画を閲覧していない方は申請できません。 https://www.pip-maker.com/?view=mq7n

5. 返還免除内定者になっている方へ (修士内定・博士採用時内定) **※該当者のみ 要確認※**

「特に優れた業績による返還免除」内定者 (※3) で、2025 年度中に第一種奨学金の貸与が終了し、内定の取り消し (※4) に該当しない方もこの制度への出願が必須となります。

内定取り消しとなった場合でも、通常の審査対象としてこの制度への出願は可能です (懲戒を受けた者は除く)。

(※3) 修士課程相当 (専門職学位課程含む) : 返還免除内定制度の内定者 および

博士課程後期課程相当 : 採用時返還免除内定制度の内定者

(※4) 内定取消の要件 :

- ① 貸与期間中の学生懲戒などによる奨学金の停止・廃止となった場合。
- ② 修業年限内で課程を修了できなくなった (学位を取得できなかった) 場合。ただし、課程修了できなかった理由が、災害、傷病、感染症の影響その他のやむを得ない事情によるものであると認められる場合には、修業年限内で課程を修了したものとみなし、内定取消の対象外とします。

申請を希望する場合は、2月13日 (金) 17 : 00 までに学生オフィス (BKC) へ連絡してください。

6. 「返還免除候補者」の選考および「返還免除者」の決定

(1) 「返還免除候補者」の選考（学内選考）

出願者が所属する各研究科委員会での選考を経たのち、学内選考委員会において「返還免除候補者」としての被推薦者を決定します。

<学内選考方法>

修士課程および専門職課程：書類選考により決定

博士課程：書類選考（一次選考）および面接選考（二次選考※）により決定

※博士課程の面接選考（二次選考）について

二次選考（面接）は3月下旬～4月上旬にZoomにて実施予定です。

対象者には、**3月18日（水）頃**に詳細を個別通知（電話またはメール）します。

面接にあたり、別途書面の提出を求めることがあります。

(2) 「返還免除者」の決定（JASSO の認定）

- ① 上記（1）の学内選考において決定した被推薦者を「返還免除候補者」として大学からJASSOへ推薦します。
- ② 大学から推薦した「返還免除候補者」をJASSOが最終認定を行い、免除額の[全額/半額]について決定されます。

7. 選考結果の通知

(1) 「返還免除候補者」の選考結果通知（学内選考による） ※JASSO への推薦可否に関する通知

通 知 時 期：**2026年5月中旬以降**に通知予定

通 知 方 法：出願者全員に対し、Web 申請フォームに入力されたメールアドレスに通知します。

(2) 「返還免除者」の決定通知（JASSO 認定による） ※大学からの推薦に基づく JASSO の認定結果通知

通 知 時 期：**2026年7月下旬以降**

通 知 方 法：2026年6月末時点でJASSOに登録されている住所宛に、書面にて通知します。

※JASSOより返還免除者および免除額（全額もしくは半額免除）を決定した旨の通知があります。この通知をもって正式決定となります（※事前に大学に問い合わせをされても回答できません）。

※卒業後、転居の際はすみやかにスカラネットパーソナルで住所変更手続きを行い、郵便局へ転送依頼をしてください。宛先不明によりJASSOへ返送された場合、原則再送付されません。

8. 注意事項

(1) 機関保証 保証料について

機関保証制度に加入して奨学金の貸与を受けていた方で、返還免除において全額免除に決定した場合、保証料の返金があります。JASSOによる免除認定後、後日返金についてお知らせが届きます。

この保証料返金業務は、公益財団法人 日本国際教育支援協会が行います。

(2) 繰上返還について

JASSOの返還免除認定結果（全額もしくは半額免除）が判明する2026年7月下旬までは、出願者または出願者の連帯保証人等から全額または一部の繰上返還を行わないでください。

(3) 返還猶予手続について

2025年度の途中で満期・卒業・退学となった方は、返還免除の認定結果が出る前に返還期日が到来する場合があります。必ず「奨学金返還期限猶予願」（在学者は「奨学金在学猶予願」）を提出してください。

参考：日本学生支援機構 Web サイト

https://www.jasso.go.jp/shogakukin/henkan_konnan/yuyo/index.html

9. よくある質問

Q1. 予定（未来）の業績は提出できますか。

A1. 出願締め切り日までにエビデンスを入手できる業績のみ提出可能です。

ただし、査読中の業績等については、今後査読予定の業績として申請書への記載が可能です（エビデンスの添付は必須）。

Q2. 申請書の枠に業績が収まらない場合はどうしたらよいですか。

A2. 申請書のフォーマットを変更することなく、枠の大きさを変えたり、区切り線を追加したりして収まるよう工夫してください。申請書のページ数に上限はありません。必ず判別できる大きさの文字で、かつ見切れないよう作成してください。

Q3. 共著の業績は提出できますか。申請書の著者はどのように記載したらよいですか。

A3. 提出できます。申請書の著者は、著者全員記載でもご自身の姓名のみ抜粋して記載でも、どちらも不備とはしません。

Q4. 申請書のすべての項目において業績を添付しなければいけませんか。

A4. すべての項目で業績を提出する必要はありません。ご自身が審査してほしい業績のみ提出してください。提出する業績が無い項目は空欄でかまいません。

Q5. 申請フォームの添付枠が足りません。添付できないデータはどうしたらよいですか。

A5. 申請完了後に届く受付完了メールに記載の URL より追加提出してください。

Q6. 成績証明書の取得時期に定めはありますか。

A6. 2025 年 12 月 1 日以降に学内発行機にて取得した成績証明書が必要です。

※学部の成績証明書は不要ですので、提出しないでください。

※CAMPUS WEB のスクリーンショット等は受け付けません。必ず学内発行機にて成績証明書を取得してください。

Q7. 出願締め切り後に査読結果が届きました。追加でエビデンスの提出ができますか。

A7. 出願締め切り後の提出は、いかなる理由があっても認められません。出願時点で査読予定の業績として審査されます。

Q8. 「JASSO に提出したい資料を各設問の 1 点目に添付する」とありますが、どういうことですか。

A8. JASSO に提出できる資料は、業績項目ごとに 1 点のみです。申請フォームへデータを添付する際、JASSO に提出したい資料（ご自身が特に優れた業績として審査してほしい資料）を各設問の 1 番最初に添付してください。

申請書の資料番号と、申請フォームの添付順序が異なっても問題ありません。

Q9. 業績項目 2 と業績項目 3 はどのような資料を提出したらよいですか。

A9. 詳細は募集要項 P.4 下部にあるリンク先の通りです。他の項目に当てはまる業績であれば、他の項目で提出してください。

業績項目 2 と業績項目 3 でどのような業績を提出するか（もしくは空欄で提出するか）は、ご自身で判断してください。学生オフィスへ問い合わせされてもお答えできません。

※この項目は、修士課程に在籍する学生のみ提出可能です。修士課程以外の学生は他の業績項目で提出してください。

Q10. 業績項目 7（研究または教育に係る補助業務の実績）で、エビデンスは何を提出すべきですか。

A10. 大学指定の書式を以下 Web サイトよりダウンロードのうえ、必要事項を記入し提出してください。

https://www.ritsumeai.ac.jp/scholarship/news_economic/article.html/?news_id=444

Q11. 学部の業績は審査対象となりますか。

A11. 学部の業績は審査対象となりません。提出されても審査対象としませんので注意してください。

10. 問い合わせ先 ※全キャンパス共通

以下の Web ページを確認してください。

https://www.ritsumeai.ac.jp/scholarship/news_economic/article.html/?news_id=451

西暦		2026年		2月		1日	
独立行政法人日本学生支援機構理事長殿							
<p>私は以下について承知したうえで、特に優れた業績による返還免除を申請します。なお、本申請書記載内容に相違はありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・免除認定を受けた場合、認定後に日本学生支援機構が行う特に優れた業績による返還免除に関するアンケートや調査に協力することに同意します。 ・(2023年度以降に博士(後期)課程及び博士医・歯・薬・獣医学課程において第一種奨励金(学術)又は第二種奨励金(学術)を受賞し、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が実施する「科学技術イノベーション創成事業」又は「次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING)」又は「国家戦略分野重点推進型国際共同研究プログラム」のいずれかにより、博士(後期)課程学生の育成事業(BOOST)次世代AI人材育成プログラム(博士後期課程学生支援)」のいずれかに参加し、博士(後期)課程学生として在学中であること。) <p>免除が取り消されることを承知しています。</p>							
フリガナ				キコウ タロウ			
氏名				機構 太郎			
大学院名				JASSO大学			
課程 該当の課程の□を ■にしてください		<input type="checkbox"/> 修士(博士前期)課程		<input type="checkbox"/> 専門職学位課程		<input checked="" type="checkbox"/> 博士(博士後期)課程	
研究科名・専攻名		工学研究科情報工学専攻		学籍番号		9999999	
奨学生番号		6230699999		生年月日		西暦 1988年4月5日	

☐ 上記で選択した課程において、内定者として認定されている。

※該当する場合のみ、□を■にしてください。

大学院における研究課題等

↓専攻分野に関わらず必ず記入してください。

概要

業績の種類

(1) 業績を証明する資料を添付し、申請書に書かれた資料番号を付記してください。

(2) 必要に応じて行を挿入してください。行の挿入により、表の形式及び記入項目に変更がなければ、頁数が3頁以上になっても構いません。

業績の種類					資料番号	機構に提出
学位論文その他研究論文	学位論文	必要項目：①申請者名 ②論文タイトル 例：①機構太郎 ②「(論文タイトル)」			1-1	✓
	研究論文	査読付き 原著論文	受賞 ・表彰	※査読付き原著論文の有無、論文・学会で受賞・表彰は左欄に ○を記載してください。		
				必要項目：①申請者名(著者名、共著者名)②論文タイトル③発表年 ③論文内容の概要④学術雑誌等名⑤学術雑誌発行年		
		○		例：①機構太郎 ②「(論文タイトル)」③2025年 ④資料1-2参照 ⑤「令和7年度○○学会誌」⑥2025年	1-2	
	○		例：①機構太郎、奨学花子 ②「(論文タイトル)」③2025年 ④資料1-3参照 ⑤「令和8年度○○学会誌」、⑥2026年3月(予定)	1-3		
	学会での発表	/		必要項目：①申請者名(発表者名、共同発表者名)②題目③会議名④発表年⑤表彰、受賞等		
				例：①機構 太郎 ②「(題目)」 ③令和6年度○○学会定例会 ④2024年 ⑤表彰、受賞なし	1-4	
○			例：①機構 太郎 ②「(題目)」 ③令和7年度○○学会定例会 ④2025年 ⑤優秀ポスター賞	1-5		
日本学術振興会の特別研究員に採用、または、民間財団等が公募している競争的資金を獲得することにより奨学金を辞退		必要項目：①申請者名 ②年度 ③特別研究員採用又は競争的資金獲得情報 例：①機構太郎 ②2025年 ③特別研究員採用				

※論文及び学会での発表により機構以外の給付奨学金や外部資金を獲得した場合は、「研究論文」又は「学会での発表」の欄に記入し、「受賞・表彰」欄に○をつけください。

業績の種類			資料番号	機構に提出
2	大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究の成果	※修士課程の学生のみ対象 必要項目：①申請者名 ②研究の成果 例：①機構太郎 ②修了制作「(タイトル)」		
3	大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果	※修士課程の学生のみ対象 必要項目：①申請者名 ②試験及び審査の結果 例：①機構太郎 ②修士課程修了試験合格証明書		
4	(専攻分野に関連した)著書、データベースその他の著作物(1及び2に掲げるものを除く)	必要項目：①申請者名 ②著書、データベース等のタイトル ③著書、データベース等の概要 ④発行年 例：①機構太郎 ②「(タイトル)」 ③資料参照 ④2026年		
5	(専攻分野に関連した)発明	必要項目：①申請者名(発明(考案)者名) ②特許等の出願日あるいは認定日 ③特許等の出願時あるいは登録時に付与される番号 例：①機構太郎 ②登録日 2026年X月X日 ③特許番号 XXXXXXX 出願番号の例：2026-123456、特願令07-123456 登録番号の例：特許 第1234567号		
6	(専攻分野に関連した)授業科目の成績	必要項目：①申請者名 ②成績の詳細 ③年度 例：①機構太郎 ②資料6-1参照 ③2024年～2026年	6-1	✓
7	(専攻分野に関連した)研究又は教育に係る補助業務の実績	必要項目：①申請者名 ②研究プロジェクト名あるいは授業名 ③年度 例：①機構太郎 ②「情報工学基礎Ⅰ」でティーチング・アシスタントを担当 ③2025年	7-1	✓
		例：①機構太郎 ②奨学大学〇〇研究室の「(プロジェクト名)」においてリサーチ・アシスタントを担当。 ③2025年～2026年	7-2	
8	(専攻分野に関連した)音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績	必要項目：①申請者名 ②発表会名 ③年度 ④成績 例：①機構太郎 ②第N回〇〇コンテスト ③2025年 ④最優秀賞		
9	(専攻分野に関連した)スポーツの競技会における成績	必要項目：①申請者名 ②競技会名 ③年度 ④成績 例：①機構太郎 ②第N回全国〇〇競技大会 ③2026年 ④3位入賞		
10	(専攻分野に関連した)ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績(公益の増進に寄与した研究業績)	必要項目：①申請者名 ②イベント等の名称 ③年度 例：①機構太郎 ②「夏休みプログラミング教室」 ③2025年 例：①機構太郎 ②「〇〇市XX事業ボランティア」 事業で使用する利用者登録システムの構築に対し助言を行った。 ③2026年	10-1	✓

以上